

# AWS EC2でlaaSを体験しよう

#### 事前に下記よりコンテンツをダウンロードして下さい

# http://d.ichiro.es/aws-handson.zip



- 1) 今回の目標
- 2) EC2とは
- 3) EC2のセキュリティ
- 4) 料金体系
- 5) ハンズオン
  - ・EC2インスタンスを立ち上げる
  - ・SSH/SFTPで接続する
  - ・Webサーバを立ち上げる
  - ・あと片付け

# 今回の目標

- AWSコンソールの操作方法を理解します
   ※IE8以外のブラウザを使用すること
- ・ ファイアウォールの仕組みを理解します
- ・ 鍵認証の仕組みを理解します
- ・ EC2でLinuxサーバを立ち上げます
- ・ SSHで接続し、コマンド操作を行います
- SFTPで接続し、ファイル転送を行います
- ・ Webサーバを立ち上げます

# EC2とは



Amazon Amazon EC2 EBS

- ・ 基本的な仕組みはVMwareなどの仮想化基盤と全く同じ
- 仮想マシン(インスタンス)は、CPUコア数やメモリなどのスペックでメニュー 化されており、起動(デプロイ)時にOSとともに選択する
- ・ 起動ディスクはEBS(ブロックストレージ)を利用する
- EC2インスタンスは起動した時間だけ課金され、EBSは削除しない限りずっと 課金される
- マシンイメージを簡単に取得できるので、クローン作成、バックアップ、イン スタンスのスケールアップ等が容易に実行可能
- ・ 負荷に応じた自動的なインスタンス数の増減(オートスケール)が可能
- ・ ロードバランサー(ELB)が非常に安価で利用できる
- ・ グローバルIPは、停止→起動で変更となる。再起動では変更されない(まれに変更される場合もある)。固定したい場合は、Elastic IPを利用する
- リージョン(地域)やAZ(Availability Zone、リージョン内の別DC)を跨いで冗
   長構成とすることで、非常に高い可用性が実現できる
- ・ 運用の考え方はオンプレミスのサーバとほぼ変わらない

# EC2のセキュリティ



#### Key pair

ダウンロードしたKey pairはローカルで管理。SSH/SFTPの認証が非常に安全 になるが、紛失するとインスタンスにアクセスできなくなるので注意!

#### **Security Group**

適切に設定することでインスタンスを外部の攻撃から守り、安全なアクセス経路を 保障することができる

## 料金体系(東京リージョン、2015年6月現在)

#### 料金は頻繁に改定(値下げ)されている。最新情報は「AWS 電卓」で検索

サービス	課金体系	金額	無料範囲(max1年)
<b>データ転送</b> (全サービス共通)	アウトバウンドデータ量 (AWS→ユーザ)	\$14/100GB	15GB/月
EC2 (t2.micro/Linux)	起動時間(h) (起動時は1固定IP無料)	オンデマンド \$15/月 1年リザーブ \$11/月	750時間/月 (複数インスタンス合算可能)
<b>EBS</b> (ブロックストレージ)	・月間平均使用量 (EC2起動時間は関係なし) ・I/O数	\$8/100GB(HDD) \$12/100GB(SSD)	月間平均30GB
Elastic IP (固定IP)	EC2が起動していない時間 (h)で課金	\$7.32/月	EC2を常時起動していれば 1IP/インスタンスは永久無料
<b>ELB</b> (ロードバランサー)	・起動時間(h) ・データ転送量	\$19.8/月 \$0.8/100GB	750時間/月 15GB/月
<b>S3</b> (オブジェクト ストレージ)	・月間平均使用量 ・リクエスト数	\$3.3/100GB \$0.4/100万Get	月間平均5GB リクエスト Get 20,000 Put 2,000

### ハンズオン

7

#### ○ EC2インスタンスを立ち上げ、SSH/SFTPでアクセスできるようにします

Α	■EC2インスタンスを立ち上げる	
A1	<ul> <li>□AWSにサインインし、EC2コンソールに移動する</li> <li>□画面最下部左側の[日本語]を[English]に変更する</li> <li>□[Asia Pacific(Tokyo)]リージョンに変更する</li> <li>(画面右上、アカウント名の横)</li> <li>□[Launch Instance]をクリックする</li> </ul>	Create Instance To start using Amazon EC2 you will want to launch a virtual se instance. Launch Instance Note: Your instances will launch in the Asia Pacific (Tokyo) region
A2	□[Amazon Linux]の[Select]をクリックする	Amazon Linux AMI 2015.03 (HVM), SSD Volume Type - ami-cbf90ecb     Select       Amazon Linux     The Amazon Linux AMI is an EBS-backed, AWS-supported image. The default image includes AWS command line tools, Python, Ruby, Perl, and Java. The repositories include Docker, PHP, MySQL, PostgreSQL, and other packages.     64-bit       Root device type - ebs     Virtualization type hvm     64-bit
А3	<ul> <li>□t2.microインスタンスを使用するので、そのまま [Next:]をクリックする</li> <li>□さらに[Next:]を3回クリックする</li> <li>□[Value]にホスト名を入力する(省略可)</li> <li>□[Next:]をクリックする</li> </ul>	Key     (127 characters maximum)     Value     (255 characters maximum)       Name     紫電效       Create Tag     (Up to 10 tags maximum)
A4	<ul> <li>□[Security group name:]に適当な名前を入力する</li> <li>□[Add Rule]をクリックして、SSHとHTTPを追加する(右図参照)</li> <li>※本番環境ではSSHはアクセス元IPで制限をかけること</li> <li>□[Review and Launch]をクリックする</li> <li>□[Launch]をクリックする</li> </ul>	Assign a security group:  Create a new security group Create a new security group Security group name: Trockai Description: Isunch-wizard-1 created 2015-04-05T00.56.23.518409.00 Type  Protocol  Protocol  Prot Range  Source  OUDDON/O SH  TCP 22 Anywhere  OUDDON/O SAd Rule
A5	<ul> <li>□[Create a new key pair]を選択する</li> <li>□[Key pair name]に適当な名前を入力する</li> <li>□[Download Key Pair]をクリックして保存する</li> <li>□[Launch Instances]をクリックする</li> <li>※ダウンロードしたKey pairはSSH/SFTPアクセス する際の「鍵」となる大切なモノなので紛失注意!</li> </ul>	Create a rew ley pair Key pair name TCnolai Download Key Pair

## ハンズオン

A6	□[View Instances]をクリックする □インスタンスが起動していることが確認できる	Name       ✓       Instance ID ▲       Instance Type ✓       Availability Zone ✓       Instance State ✓         kuraben-RDS       i-332a652a       t2.micro       ap-northeast-1a       ●       stopped         紫電改       i-c1c08532       t2.micro       ap-northeast-1a       ●       running
В	■PuTTYでSSHアクセスする	
B1	<ul> <li>□zipファイル内のPGフォルダに入っている puttygenを起動する(インストール不要)</li> <li>□[Conversions]→[Import Key]</li> <li>□先ほどダウンロードしたKey pair(*.pem)を選択する</li> <li>□[Save private key]をクリックする</li> <li>□[はい]をクリックする</li> <li>□[はい]をつけて*.ppkを保存する</li> <li>□[puttygen]を閉じる</li> </ul>	PUTTY Key Generator         File       Key Conversions       Help         Key       Public key for pastine into OpenSSH authorized/seys file:       Sintras:         South Shift interseted/seys file:       Sintras:       Sintras:         South Shift interseted keys       Sintras:       Sintras:         South Shift interseted keys       Sintras:       Sintras:         South Shift interseted keys:       Sintras:       Sintras:         South of thits in a generated key:       Sintras:       Sintras:
B2	□EC2コンソールでインスタンスのグローバルIPアド レスを確認する IPアドレス:[ ]	● 紫電改 i-c1c08532 t2.micro ap-northeast-1a ● running ● 2/2 checks None Instance: i-c1c08532 (裝電改) Public DNS: ec2-52-68-9-64.ap-northeast-1.compute.amazonaws.com ■ ■ Description Status Checks Monitoring Tags Instance ID i-c1c08532 Public DNS ec2-52-68-9-64.ap- northeast- 1.compute.amazonaws.com Instance state running Instance type t2.micro Elastic IP -
B3	<ul> <li>□zipファイル内のPGフォルダに入っているPuTTYを 起動する(インストール不要)</li> <li>□左ペイン[Connection]→[SSH]→[Auth]を選択</li> <li>□[Browse]をクリックしてB1で作成した*.ppkを 選択する</li> <li>□左ペイン一番上[Session]を選択し、[Host Name] にB2で確認したIPアドレスを入力する</li> <li>□[Saved Sessions]にホスト名を入力して[Save]を クリックすると設定が保存される</li> </ul>	Basic options for your PuTTY session       Session       Logens       Specify the destination you want to connect to       Host Name (or IP address)       Port       5258354       22       Connection type:       Host Name (or IP address)       Port       5268354       22       Connection type:       Host Name (or IP address)       Port       5268354       22       Connection type:       Behaviour       Selection       MIERUKA-demo       MIERUKA-demo proxy       MIERUKA-demo proxy       MIERUKA-tawamoto proxy <tr< td=""></tr<>



B4	<ul> <li>□[Open]をクリックする</li> <li>□初回接続時のみSecurity Alertが表示されるので [はい]をクリックする</li> <li>□[Login as:]が表示されたら[ec2-user]を入力する</li> <li>□プロンプトが表示されたらログイン成功</li> <li>□[exit]を入力するとセッションが終了する</li> </ul>	<pre>ec2-user@ip-172-31-7-98:~ login as: ec2-user Authenticating with public key "imported-openssh-key"    </pre>
С	■WinSCPでSFTPアクセスする	
C1	<ul> <li>□zipファイル内のPGフォルダに入っているWinSCP を起動する(インストール不要)</li> <li>□[New Site]をクリックする</li> <li>□[Advanced]をクリックする</li> <li>□[SSH]→[Authentication]を選択</li> <li>□[]をクリックしてB1で作成した*.ppkを選択する</li> <li>□[OK]をクリックする</li> <li>□[Host Name]にB2で確認したIPアドレスを入力する</li> <li>□[User Name:]に[ec2-user]を入力する</li> <li>□[Save]をクリック後、[Site Name]にホスト名(日本語不可)を入力して[OK]をクリックすると設定が保存される</li> </ul>	Image: Season       Image: Season         Image: Season       Season
C2	<ul> <li>□[Login]をクリックする</li> <li>□初回接続時のみWarningが表示されるので</li> <li>[Yes]をクリックする</li> <li>□右図のように右ペインにLinuxディレクトリが表示 されたら成功</li> <li>□セッションを終了するときは、WinSCPを終了する</li> </ul>	ec2-user - SHIDEN-KAI - WinSCP         Settings Default         ec2-user       ec2-user         pownload       ec2-user         forme/ec2-user       ec2-user         forme/ec2-user       ec2-user         snged       Name         L5/04/02       22:08:35         15/03/11       2015/04/04         15/03/12       2015/04/04         15/03/12       2015/04/14         15/03/12       2015/04/14         15/03/12       2015/04/14         15/03/12       2015/04/14         15/03/12       2015/04         15/03/12       2015/04/14         15/03/12       2015/04/14         15/03/12       2015/04/14         16/02       2015/03/04         16/02       2015/03/04         16/02       2015/03/04         16/02       2015/03/04         16/02       2015/03/04         16/02       2015/03/04         16/02       2015/03/04         2015/03/04       14:16:34         17/04       16/02         2015/03/04       14:16:34         17/04       16/02



	○ ApacheをインストールしてWebサーバを立ち上げます		
D	■Apache(httpd)をインストールする		
D1	<ul> <li>※右項は、赤字がコマンド入力箇所</li> <li>□PuTTYでインスタンスにec2-userでSSH接続する (保存済みの接続情報をダブルクリックでOK)</li> <li>□httpdをインストールする</li> <li>□httpdを自動起動するように設定する</li> <li>□httpdを起動する</li> </ul>	Login as: ec2-user \$ sudo yum -y install httpd (省略) \$ sudo chkconfig httpd on \$ sudo service httpd start	
D2	□WebブラウザでB2で確認したIPアドレスにアクセ スする □右図が表示されたら成功	Test Page for the Apace ×	
Ε	■コンテンツをアップロードする		
E1	<ul> <li>□続けて、PuTTYでWebコンテンツディレクトリに 777のアクセス権を設定する</li> <li>□PuTTYを終了する</li> </ul>	<pre>\$ cd /var/www \$ sudo chmod 777 html \$ exit</pre>	

ハンズオン

E2	<ul> <li>WinSCPでインスタンスにSFTP接続する (保存済みの接続情報をダブルクリックでOK)</li> <li>左ペインをzipファイル内の[Webコンテンツ/EC2] フォルダに、右ペインを[/var/www/html]に変更す る</li> <li>左ペインの全てのオブジェクトを右ペインにドラッ グアンドドロップする</li> </ul>	html - SHIDEN-KAI - WinSCP       - □ ×         Local Mark Files Commands Session Options Remote Help         ● SHIDEN-KAI       > New Session         ● SHIDEN-KAI       > New Session         ● SHIDEN-KAI       > New Session         ● My dot - ②       ○         ● SHIDEN-KAI       > New Session         ● My dot - ②       ○         ● Upload       ②         ● Edit ×       ● Properties *         ● Download       ②         ● Edit ×       ● Properties *         ● Download       ②         ● Edit ×       ● Properties *         ● Immg       ○         ○ Jass       ○         ● B of 3,974 B in 0 of 3       0 B of 0 B in 0 of 0         ● B of 0,874 B in 0 of 3       0 B of 0 B in 0 of 0
E3	<ul> <li>□WebブラウザでB2で確認したIPアドレスにアクセ スする</li> <li>□右図が表示されたら成功</li> <li>□WinSPCを閉じる</li> </ul>	Project cLoud demo1 ×     ← → C 52.68.9.64     KITN AWS勉強会     Image: Contraction of the state of the stat

# あと片付け

#### ○ EC2のmicroインスタンスは1年間の無償対象に含まれています



#### ○ 課金状況の確認方法



🎁 🛛 AWS 🗸	Services 🗸 Edit 🗸	Ichi	iro Tsuji (KYOSO) 👻 Globa
ダッシュボード	月額利用料	❷ サービス別	料金明細
請求書 コストエクスブロー ラー	AWS アカウント請求コンソールへようこそ。現在の月額 以下の通りです。表示されている円グラフは各サービスの 比率を表しています。	利用料は の利用料	EC2
- お支払方法 お支払履歴	過去1 か月間の残高: 4 月 2015 , お支払いに使用す 為替レートは概算です。	たる通貨の	Route53
一括請求 アカウント設定	84.75 USD, 換算額		Cioud その他
レボート 設定	IU, IO4.UU JF I 今日の為替レート 120.1623404648	利用料が多 いサービス	USD
クレジット 課税設定		の順番 EC2	\$62.21
DevPay	28,133 <i>前)</i>	▲ 3.00 JPY RDS 月の請求書	\$14.09
	✔ サブスクリブション料金を含む	Route53	\$2.02

# あと片付け

#### ○ 今後利用予定がない方は、AWSアカウントも削除しておきましょう

G	■アカウントを削除する	
G1	□左図のように、アカウント名をクリックして[My Account]を選択する	AWS V Services V Edit V       Idition Tauji (IRVOSO) V         Amazon Web Services       Aministration & Security         Compute       Aministration & Security         EC2       Virtual Servers Instance         Virtual Servers Instance       Aministration & Security         Dambda merupone       Diministration & Security         Image: Lambda merupone       Administration & Security         Virtual Servers Instance       Administration & Security         Image: Lambda merupone       Management         Image: Lambda merupone       Management         Image: Lambda merupone       Virtual Servers Instance         Image: Lambda merupone       Management         Image: Lambda me
G2	□画面最下端までスクロールし、[Close Account]の 項目でチェックボックスにチェックを入れ、[Close Account]ボタンをクリックする □以降、画面の指示に従う	Close Account I understand that by clicking this checkbox, I am willing to close my AWS account. Monthly usage of certain AWS services is calculated and billed at the beginning of the following month. If you have used these types of services this month, then at the beginning of next month you will receive a bill for usage that occurred prior to termination of your account. If you own a Reserved Instance for which you have elected to pay in monthly installments, when your account is closed you will continue to be billed your monthly recurring payment until the Reserved Instance is sold on the Reserved Instance Marketplace or it expires. Close Account